



Yonago East Weekly

創立 / 1968年4月24日 事務所 / 米子市西福原1-1-55 ホテルサンルート米子 (0859)32 5531
 例会日 / 水曜日12:30~13:30 例会場 / ホテルサンルート米子市西福原1-1-55 (0859)33-0911
 会長 / 杉原弘一郎 幹事 / 宮岡博就 会報 / 荒川圭三 提供 / 東京印刷

出席報告

会員数75名 出席数 52名 欠席数 19名
 出席免除会員 4名(荒川(雄)君、村上君、松本(正)君、
 新宮君)

出席率 73.97%

前回補正出席率 12/24 72.97% 12/17 81.94%

欠席者

足立(延)君、荒川(圭)君、藤尾君、深田君、秦野(一)君、
 勝部君、小谷(隆)君、小西君、北沢君、小土井君、松本
 (啓)君、西村君、野津君、尾沢君、高林君、戸田君、種
 田君、内田君、吉野君、山中君

ビジター

メーカーキャップ

田村君、坂口君、種田君、小椋君、野津君、西村君、
 安井君、勝部君、深田君、小谷(隆)君(1/5米子南)、
 田淵君、野津君、荒川(圭)君、西村君、木美君、池
 淵君、高橋君、種田君、井上(雄)君、勝部君、細田
 君、小谷(隆)君、柳谷君、江原君(1/8米子中央)

今週のお祝い

出席100%祝: 25年宮本守君、23年新納哲雄君

スマイルBOX 9,000円(累計582,000円)

出席100%祝: 宮本君、新納君、2月1日に米
 子管弦楽団の定期演奏会を行います。是非おい
 てください: 井上(雄)君、半分終了しました。
 あと半分、至らぬ会長ですが、よろしくお願致
 します: 杉原君

会長挨拶

皆様明けましておめでとうございます。今年をいい年
 にする素を申し上げます。一つは、昨年日経プラスワ
 ンで、大山おこわおにぎりが全国第2位にランクされま
 した。二つ目に米子出身の方々为中心にお作りにな
 ったガイナックスという会社があり、有名なエヴァンゲ
 リオンが誕生しております。そして三番目に、全国の名
 山3位に大山が入りました。さらに名水があります。とい
 うことで皆様と頑張りたいと思います。それからお願い
 ですが、作文プロジェクトは非常に意義がありますが
 予算が切迫しております。中海テレビさん、王子製紙
 さんにもご協力いただいておりますが、タイトルに社名を
 入れて皆様に5000円の拠出をお願いしたい。また今
 年度の副幹事さんと会員増強特別プロジェクトを作り
 取り組んで行きたいと思っております。それから韓国との交
 流ですけど、皆様にご審議いただく時期が参りました。
 ご相談申し上げたいと思っておりますのでよろしくお願
 いいたします。

幹事報告

1. ガバナーエレクト壮行会の御礼
2. 5RC合同例会のご案内
 2月12日(木) 18:30~20:30
 ホスト: 米子中央RC 会場: ホテルサンルート米子
3. 鳥取県留学生交換推進協議会の開催について
 2月4日
4. 例会変更通知
 境港RC 1月27日(火) 夜間例会
 ビジター受付あり



MAKE DREAMS REAL 夢をかたちに

プログラム

「ロータリーの友紹介」 雑誌リーダー 芦立久君

横書き

P4: 超我の奉仕に関わる: ロータリーの中核となる価値感(奉仕・親睦・多様性・高潔性・指導性)

敬愛する日本の皆様へ: 会員数世界第2位であった日本のロータリークラブがインドに追い越されてしまった。

P6: ロータリーを理解し、理解してもらうために。

P21: カーネルおじさんの襟元

縦書き

P2: 命について、奉仕に関連して: 命への畏敬

P6: 奉仕の果実は平和

P16: 私が遠くのクラブに入会した訳

「年男放談」

石井 敬薫 君

私は、昭和12年1月15日の丑年生まれで、72歳になります。ロータリーに入ってよかったと思うのは、お金や地位や財産でなく、人間真横であるという気持ちで学ばせていただいて、物事の正確な判断が出来るようになったことだと思います。いくら良い風を作っても、風が吹かないと凧にならないんです。物事がうまく運ぶということは、自力と他力そして運があり、三つのタイミングがあったときに物事が成就すると思います。機運というものは私たちではどうにもなりません。だからこの不況においては、仕事を一生懸命しなければいけませんけれども、凧をうまく上げる世の中の機運そういう風を吹かせて欲しいと思います。

「年男放談」

永島 清孝君

還暦を迎えて3月14日で満60歳になります。私の自宅は東出雲町揖屋で町内の揖屋神社についてお話をさせていただきます。この神社は女神のイザナミの尊を中心にお祭りしております。古事記の神代の巻では、イザナギの尊とイザナミの尊は2人で日本の国を作り、次々と神様をお作りになりましたが、イザナミの尊は最後に火の神様が生まれたときに火傷をして亡くなります。イザナギの尊は黄泉の国へ会いに行きますが黄泉の国を覗いたため怒りに触れ、鬼や軍隊に追われて逃げます。最後に大きな石を置き桃の木の實を投げたら、その霊力で追い払うことが出来た。このヨモツヒラサカという場所の近くに揖屋神社がありイザナミの尊をお祭りしているということです。

次回プログラム

1月14日 「邪馬台国山陰説」
古代史研究家 田中文也氏

1月21日 「年男放談」
荒川圭三君、細田耕治君
28日 「乾燥地における砂漠化と水」
鳥取大学乾燥地研究所所長 恒川篤史 氏